

エコだんLASSELE

蓄熱電気暖房器

DM・LMTシリーズ 施工資料 vol.2



DMシリーズ



LMTシリーズ

取付工事にあたっては、「取扱説明書・取付工事説明書」を熟読して、取付手順に従い、安全に施工してください。施工終了時には「動作確認チェックシート」に従い、動作確認を実施してください。

ラッセル販売株式会社

手順 1. 取り付け前の確認事項

【取付工事説明書:P14～16】

①電気配線の確認

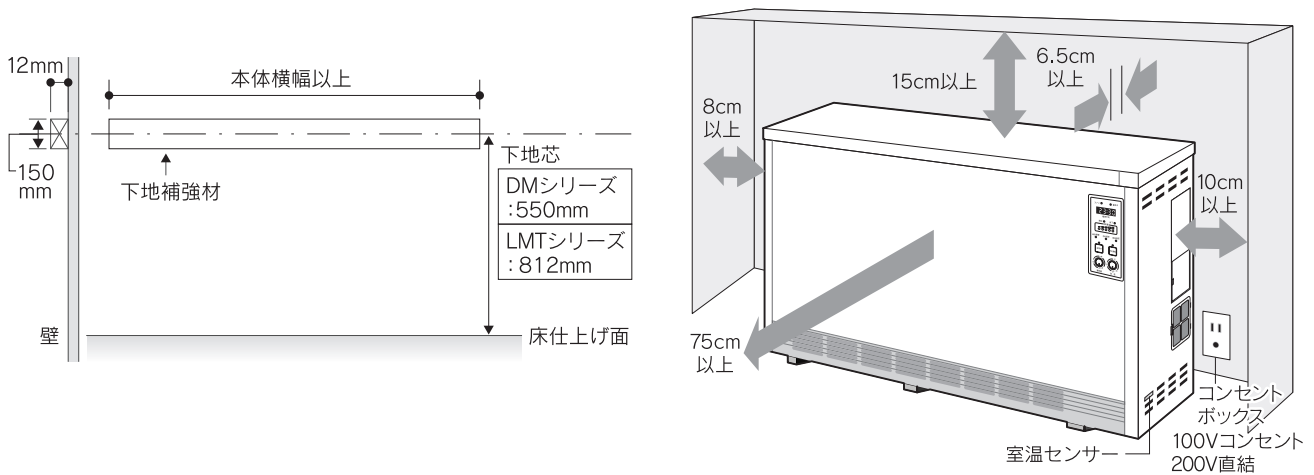
- 設定位置に200V、100Vの配線の確認。(線種と線径)
- 蓄熱用遮断器(ブレーカー)の容量確認。

②搬入時の注意

- 床面、設置位置の養生の実施。
- 壁面等と本体のクリアランスの確認。(クロス、棚板、カーテンの確認)
- 床補強、壁下地の確認と仕上材の確認。

③製品と同梱品の確認

- 部品点数(レンガ数含)と取扱説明書・取付工事説明書保証書の確認。
(一部の部品は、本体の右側板内に入っています。)



■確認事項

確認事項	確認	備考
設置位置の養生を実施したか。		
床補強・壁下地はなされているか。		
同梱品を確認したか。		
機器本体と壁・家具・カーテンとのクリアランスは十分に確保したか。		チェックシートにて確認

工事の前に確認してください(品番を確認してください)

■本製品の同梱付属品

- 取扱説明書・取付け工事説明書 (1部)
○保証書 (1部)

○印の部品は外ビニールカバーの中に入っています。
●印の部品は右側板を外してください。中に入っています。

転倒防止金具

パーツ名	数 量	数 量	数 量
●L型ステー	DM-2~4000HJ-G1	DM-5~7000HJ-G1	LMT-3600・5500HJ-G
	2個	3個	3個
L型ステー止めボルト M6×L10	4本	6本	6本
ワッシャー	4個	6個	6個

パーツ名	数量
○L型ブラケット	1個
L型ブラケット止め タッピングビス M4×L50	
DM-2000HJ-G1 … 2Kw (3ヶ所×2)	6本
DM-3000HJ-G1 … 3Kw (4ヶ所×2)	8本
DM-4000HJ-G1 … 4Kw (5ヶ所×2)	10本
DM-5000HJ-G1 … 5Kw (6ヶ所×2)	12本
DM-6000HJ-G1 … 6Kw (7ヶ所×2)	14本
DM-7000HJ-G1 … 7Kw (7ヶ所×2)	14本
LMT-3600HJ-G	7本
LMT-5500HJ-G	9本

※重要

取付前に壁下地材の有無を確認してください。もし無い場合、耐震施工が出来ませんので施工会社様へ連絡してください。

※取り付け手順

L型ブラケットを本体背面の下地材の渡してある壁へ固定します。胴縁スタット等、工法により異なりますので補強は必要に応じて施してください。

固定するタッピングビスの本数は左の表によります。

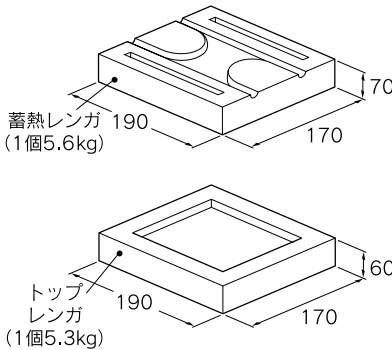
●フィルター ●ビス類・室温センサーアダプター

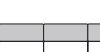
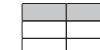
■蓄熱レンガについて (別梱包付属部品)

蓄熱レンガは熱を蓄える蓄熱レンガと温風の流を変えるために最上段にセットするトップレンガの2種類あります。
※使い始め、レンガの焼ける臭いがしますが故障ではありません。

換気を十分に行ってください。

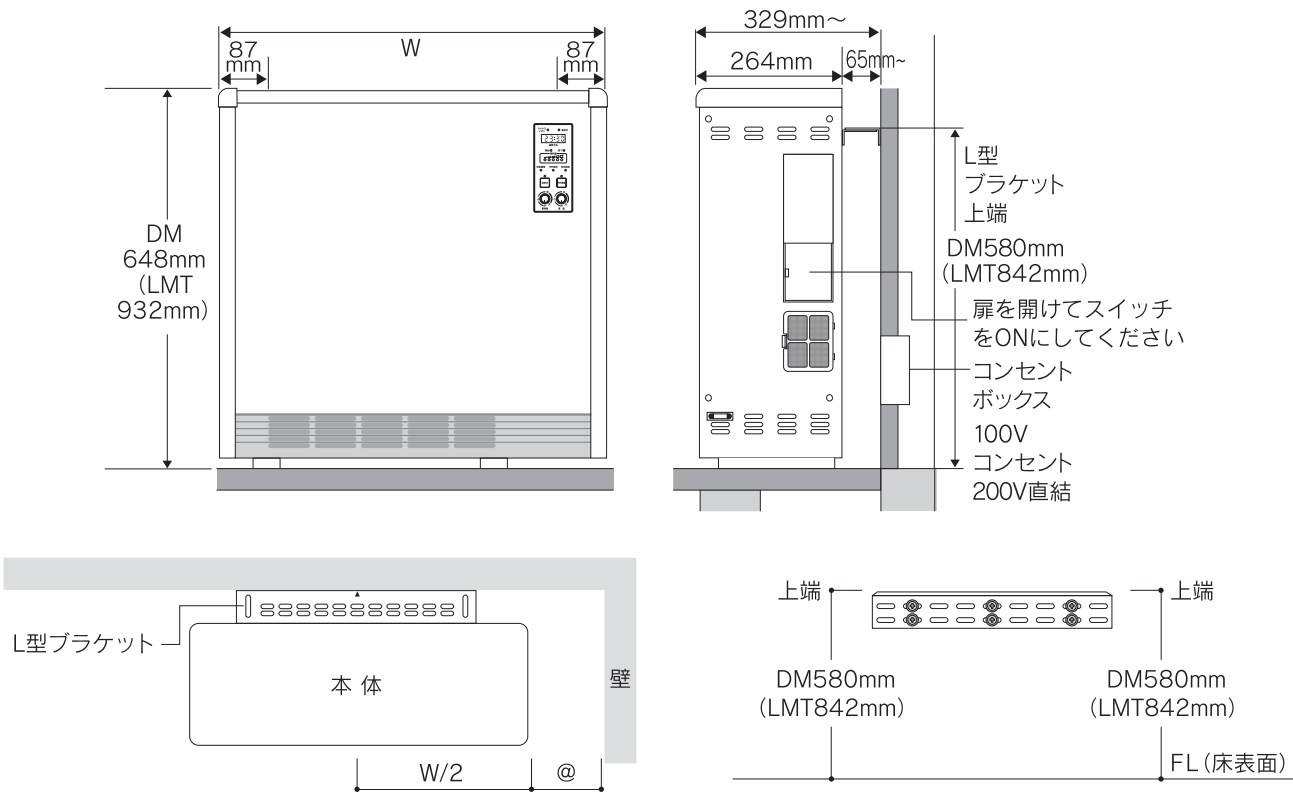
機 種	蓄熱レンガ	トップレンガ	重量(kg)
DM-2000HJ-G1	12個	2個	78
DM-3000HJ-G1	18個	3個	117
DM-4000HJ-G1	24個	4個	156
DM-5000HJ-G1	30個	5個	196
DM-6000HJ-G1/DM-7000HJ-G1	36個	6個	235
LMT-3600HJ-G	20個	2個	184
LMT-5500HJ-G	30個	3個	264



						
DM-2000HJ-G1 3ヶ所:2 4ヶ所:2	DM-3000HJ-G1 3ヶ所:3 4ヶ所:3	DM-4000HJ-G1 3ヶ所:4 4ヶ所:4	DM-5000HJ-G1 3ヶ所:5 4ヶ所:5	DM-6000HJ-G1・DM-7000HJ-G1 3ヶ所:6 4ヶ所:6	LMT-3600HJ-G 3ヶ所:2 4ヶ所:4	LMT-5500HJ-G 3ヶ所:3 4ヶ所:6

手順2. 転倒防止金具と位置決め

【取付工事説明書:P17】



機種	DM-2000HJ-G1	DM-3000HJ-G1	DM-4000HJ-G1	DM-5000HJ-G1	DM-6000HJ-G1	DM-7000HJ-G1	LMT-3600HJ-G	LMT-5500HJ-G
W(mm)	660	852	1044	1236	1428	1428	660	852
W/2(mm)	330	426	522	618	714	714	330	426

【@寸法】●右は100以上、左は80以上となります。

①位置決め

- 左右離れ寸法と本体寸法より、L型ブラケットのセンターを求める。
(6Kwの場合:@寸法+714mm)
- L型ブラケット上端位置を決めて (FL:床表面からDMの場合580mm、LMTの場合842mm)、
水平を取りながらビス止めします。

②規定のビスの本数で固定します

- L型ブラケットを止めるビスの本数

機種	DM-2000HJ-G1	DM-3000HJ-G1	DM-4000HJ-G1	DM-5000HJ-G1	DM-6000HJ-G1	DM-7000HJ-G1	LMT-3600HJ-G	LMT-5500HJ-G
W(mm)	660	852	1044	1236	1428	1428	660	852
ビスの数(本)	6	8	10	12	14	14	7	9

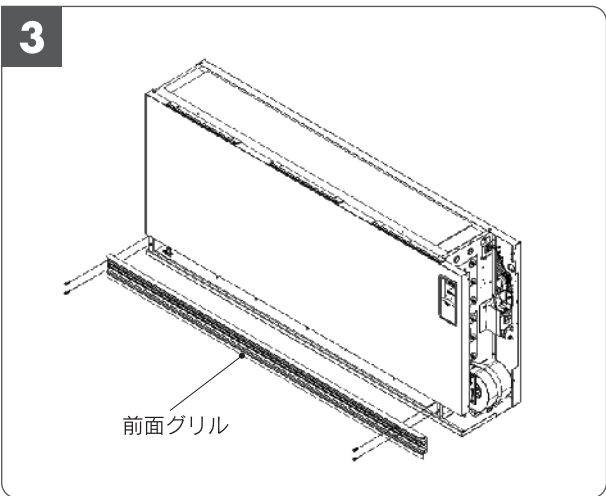
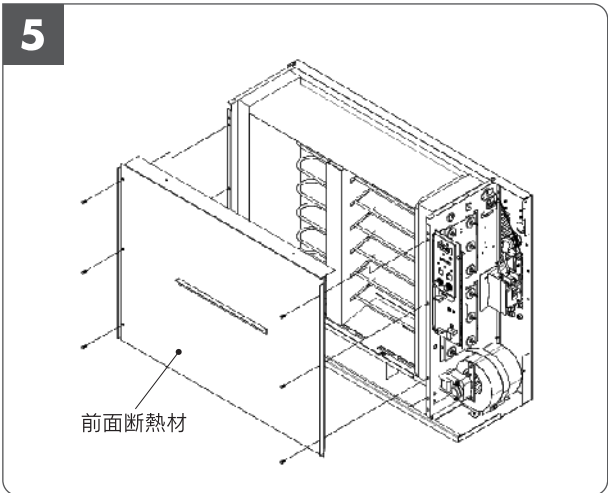
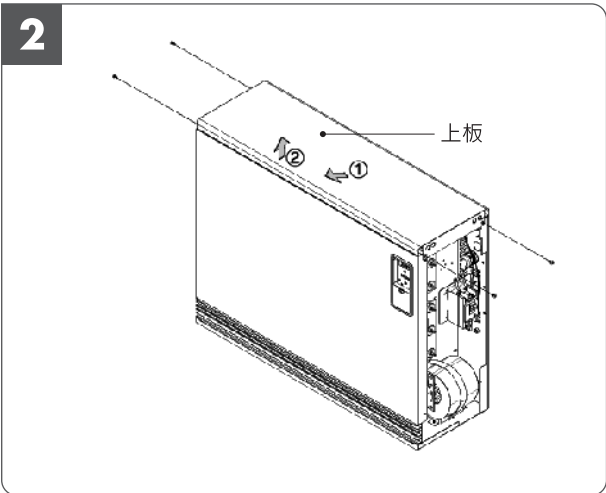
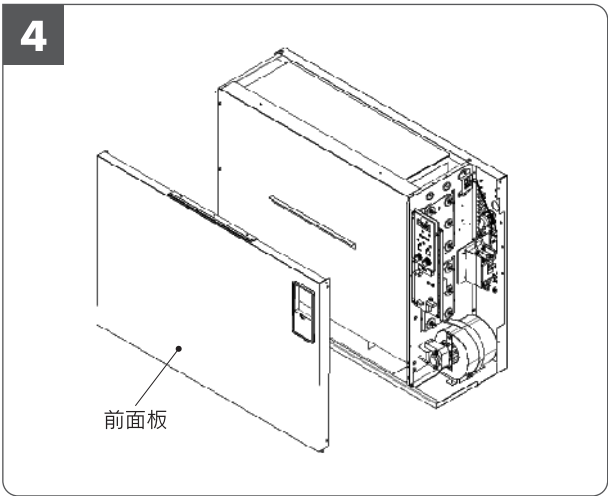
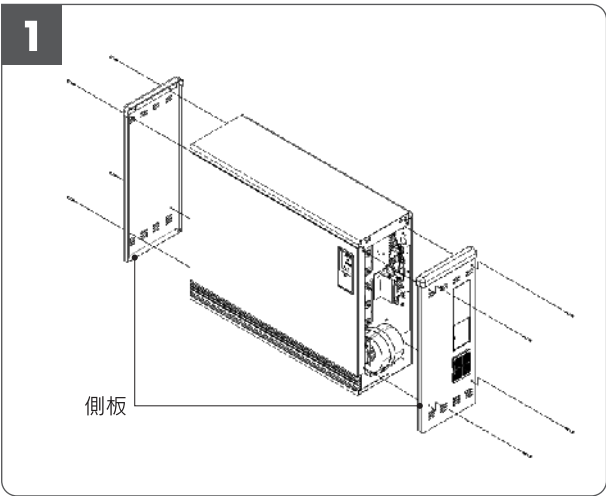
■確認事項

確認事項	確認	備考
壁下地補強材にしっかり取り付けられたか。		
ビスは規定通り取り付けられたか。		

手順3. 取り付け工事(電気接続)

【取付工事説明書:P18】

①ビスを外して、側板→上板→前面グリル→前面板→前面断熱材 の順に外します。



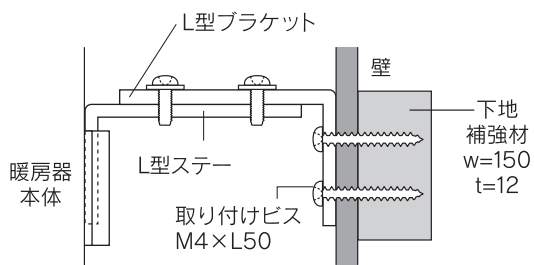
■確認事項

確認事項	確認	備考
本体に傷、打痕等はなかったか。		チェックシートにて確認

手順5. 取り付けと組み込み

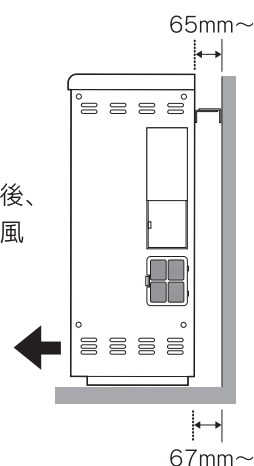
① 転倒防止金具と本体の固定

- 蓄熱本体に、L型ステーを取り付け、L型ブラケットとビスで固定する。



■取り付け

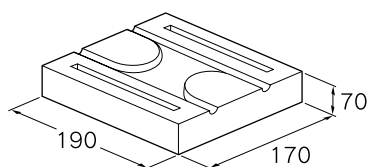
- 水準器で水平と垂直をチェックした後、本体下部を2mmほど前面に出して、風が上向きに出るようにします。
(フロアに直接、熱風が当たらないように、前面下部を2mm前方に出してください。)



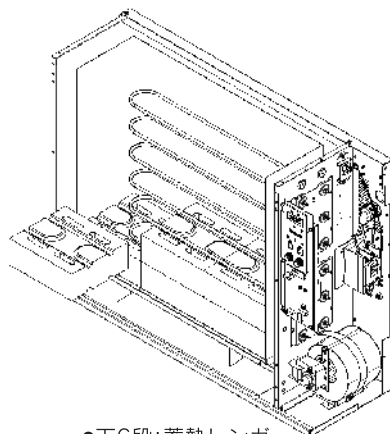
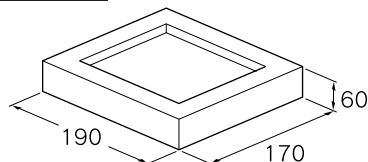
② レンガの組み込み

- 運搬保護用のパッドを外し、レンガを組み込みます。
- レンガは、蓄熱レンガと最上段にセットするトップレンガの2種類があります。

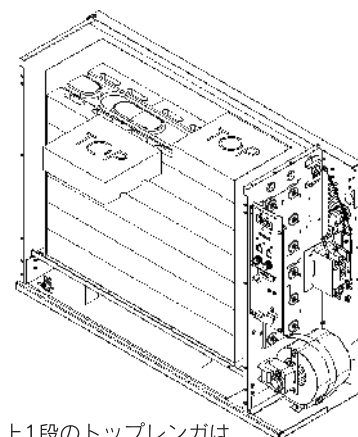
蓄熱レンガ (1個5.6kg)



トップレンガ (1個5.3kg)



- 下6段:蓄熱レンガ
- 上1段:トップレンガ



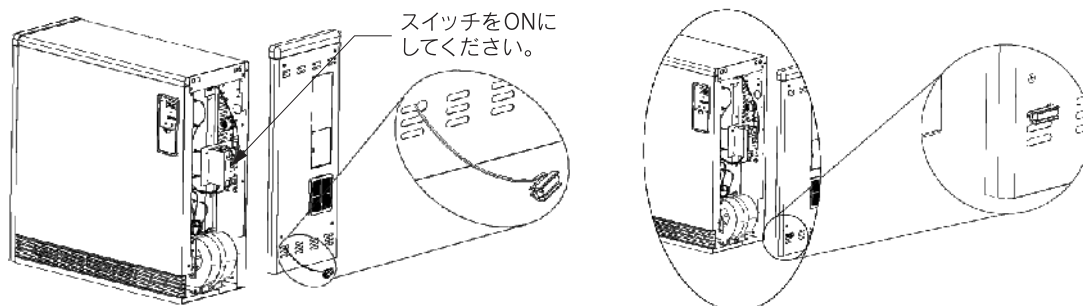
- 上1段のトップレンガは、平らな面が上向きです。

③ 動作チェック

- 次ページのチェックシートに従って動作チェックをします。
(200Vが通電できない場合は、テスターにてヒーター抵抗値測定)

④ 断熱材の組み込みと再組み立て

- 分解と逆の順序で組み立てます。(前面断熱材→前面板→グリル)
- 天板組み立て(断熱材を左側に寄せ、手前から後方へ押し込み組み立て)
注)天板には、左右の向きがあります。すき間が空いている方が右側になります。
- 室温センサーを右側板に取り付け、左右側板を取り付けます。



- フィルターを右側板に取り付けます。

床上暖房器 DM・LMTシリーズ動作確認チェックシート

チェック項目				チェック欄	
①本体機器と壁・家具・カーテン等との離隔距離は十分に確保したか					
②転倒防止金具は確実に取り付けられているか					
③断熱材・レンガ・硝子等に破損はないか					
④内外部とも清掃は十分なされているか					
⑤絶縁抵抗計にて、絶縁の確認 1.0MΩ以上である(測定値を記入)				MΩ	
⑥100V通電をして動作確認					
※現在時刻等の時刻設定は間違いないか					
※右サイドの小窓を開けてスイッチはONになっているか					
※室温センサーは正しい位置に取り付けられているか					
※室内温度ボリュームを最大にしてファンは回るか					
※蓄熱量ボリュームを最大にして追焚きボタンを押すと蓄熱LEDが点灯するか					
⑦200V通電して動作確認					
※クランプテスターにて電源ケーブルの電流値を測定					
		DM-2000HJ-G1 10A	A	DM-3000HJ-G1 15A	A
		DM-4000HJ-G1 20A	A	DM-5000HJ-G1 25A	A
		DM-6000HJ-G1 30A	A	DM-7000HJ-G1 35A	A
		LMT-3600HJ-G 18A	A	LMT-5500HJ-G 27.5A	A
⑧200V電源がない場合、テスターにてヒーターの抵抗値を測定					
		DM-2000HJ-G1 60Ω±5%		DM-3000HJ-G1 40Ω±5%	
		DM-4000HJ-G1 30Ω±5%		DM-5000HJ-G1 24Ω±5%	
		DM-6000HJ-G1 20Ω±5%		DM-7000HJ-G1 17Ω±5%	
		ヒーター本数	LMT-3600HJ-G	LMT-5500HJ-G	
EF		3	37Ω	24Ω	
CD		4	28Ω	18Ω	
AB		3	37Ω	24Ω	
⑨作業場所の清掃等片付けは大丈夫か					
⑩その他、気づいた点があれば記入してください。					
取付工事日		取付工事会社		工事担当者	
年 月 日					

■現場施工状況写真

設置状況:	電源接続部	完了後正面写真
※実測値を記入してください ※300mmを超える場合は「>300」と記入	写真貼り付け	写真貼り付け

エコだんLASSELE 保証書

品名	蓄熱電気暖房器
モデル名	
製造No.	
お買い上げ日	
ご住所	
施主名	様邸
TEL	
会社名	

ラッセル販売株式会社

〒011-0911 秋田県秋田市飯島字砂田33-12
TEL 018-845-3303 FAX 018-845-3313

販売店	
住 所	
TEL	
FAX	

記載された個人情報を安全施工管理、アフターサービス、修理等の連絡のために使用し、他の目的には使用いたしません。なお、記載の個人情報をその目的に使用する事に同意いたします。

平成 年 月 日 会社名:

床上暖房器 DM・LMTシリーズ動作確認チェックシート 見本

チェック項目					チェック欄	
①本体機器と壁・家具・カーテン等との離隔距離は十分に確保したか					○	
②転倒防止金具は確実に取り付けられているか					○	
③断熱材・レンガ・硝子等に破損はないか					○	
④内外部とも清掃は十分なされているか					○	
⑤絶縁抵抗計にて、絶縁の確認 1.0MΩ以上である(測定値を記入)					100 MΩ	
⑥100V通電をして動作確認						
※現在時刻等の時刻設定は間違いないか					○	
※右サイドの小窓を開けてスイッチはONになっているか					○	
※室温センサーは正しい位置に取り付けられているか					○	
※室内温度ボリュームを最大にしてファンは回るか					○	
※蓄熱量ボリュームを最大にして追焚きボタンを押すと蓄熱LEDが点灯するか					○	
⑦200V通電して動作確認						
※クランプテスターにて電源ケーブルの電流値を測定						
		DM-2000HJ-G1 10A	10 A	DM-3000HJ-G1 15A	A	
		DM-4000HJ-G1 20A	A	DM-5000HJ-G1 25A	A	
		DM-6000HJ-G1 30A	A	DM-7000HJ-G1 35A	A	
		LMT-3600HJ-G 18A	A	LMT-5500HJ-G 27.5A	A	
⑧200V電源がない場合、テスターにてヒーターの抵抗値を測定						
		DM-2000HJ-G1 60Ω±5%		DM-3000HJ-G1 40Ω±5%		
		DM-4000HJ-G1 30Ω±5%		DM-5000HJ-G1 24Ω±5%		
		DM-6000HJ-G1 20Ω±5%		DM-7000HJ-G1 17Ω±5%		
		ヒーター本数	LMT-3600HJ-G	LMT-5500HJ-G		
EF		3	37Ω	24Ω		
CD		4	28Ω	18Ω		
AB		3	37Ω	24Ω		
⑨作業場所の清掃等片付けは大丈夫か					○	
⑩その他、気づいた点があれば記入してください。 例) 壁下地材が入っていないかった。取付時受電になっていなかったため動作確認できなかった。など						
取付工事日		取付工事会社		工事担当者		
年 月 日		会社名を記入		担当者名を記入		

■現場施工状況写真

設置状況: 1Fリビング

電源接続部 例

完了後正面写真 例

※実測値を記入してください ※300mmを超える場合は「>300」と記入		
--	--	--

えこだんLASSELE 保証書

品名	蓄熱電気暖房器	
モデル名	DM-2000HJ-G1	
製造No.	A94CC000593B	
お買い上げ日		
ご住所	住所を記入	
施主名	施主名を記入 様邸	
TEL		
会社名		

ラッセル販売株式会社

〒011-0911 秋田県秋田市飯島字砂田33-12
TEL 018-845-3303 FAX 018-845-3313

販売店	販売店を記入
住 所	
TEL	
FAX	

記載された個人情報を安全施工管理、アフターサービス、修理等の連絡のために使用し、他の目的には使用いたしません。なお、記載の個人情報をその目的に使用する事に同意いたします。

平成 年 月 日 会社名: 取付会社名を記入

施工店様へのお願い〈エラー番号 E-04について〉

①温度過昇防止器

機器右側に、温度過昇防止器の安全装置を搭載していますが、使用時にスイッチがOFF状態ですと、200V通電中、蓄熱運転すると「E-04」が発生します。

機器側に、200Vが未通電状態になりますので、設置完了後は、必ずONの状態にしてください。

この安全装置はDMシリーズ(標準型)、LMTシリーズ(縦型)に搭載されてます。



工場出荷時は「OFF」。スイッチが下がっています。このままご使用になりますと、「E-04」が発生します。

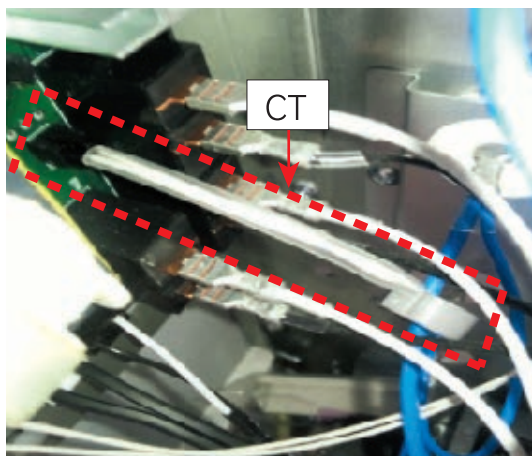


工事完了後、スイッチを上げて「ON」にしてください。

②CT

ヒーターリード線に、CTというドーナツ状の部品がありますが、この部品は電流を感知すると、200V通電状態と判断します。基盤と連動しているので、CTのコネクターが基盤から外れていると、電流を感知できなくなるので、200V未通電状態と判断し、「E-04」が発生します。運搬中に外れることがありますので、一度、抜き差しして、確実に差し込みをしてください。

■基盤裏側



■基盤裏側



施工店様へ〈200V電線の結線について〉

■本体ケーブルと屋内配線の接続の際の注意事項

- 圧着工具は、スリーブに適合した圧着ベンチを使用する。(JIS適合品)
- 圧着スリーブは、P型スリーブを使用する。
- 絶縁処理は、ビニール絶縁テープ巻とする。

■接続の方法

内線規定1335-7「電線接続」および、
1335-8「電線接続の具体的方法」
1-③-f.「直接重ね合わせ用スリーブ(P型)による接続」によるものとする。

圧着ベンチ (P型スリーブ使用)

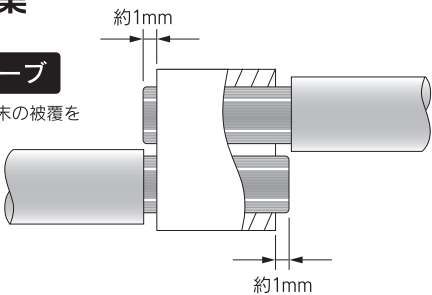
■重ね合わせ用 P形



■圧着作業

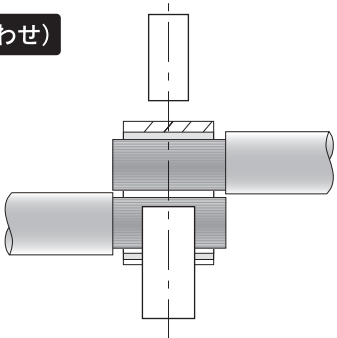
裸圧着Pスリーブ

図を参考に電線末端の被覆を剥きます。



Pスリーブ(重ね合わせ)

圧着位置は、筒部の中心を圧着してください。



■適合スリーブ表(参考例)

耐熱ケーブルサイズ	屋内配線の電線の太さ	使用するスリーブ	
		直接重ね合わせ用スリーブ (P型)	
2~3kw 3.5mm ²	2.0mm 2.0mm ²	5.5	5.5
4~5kw 3.5mm ²	2.6mm 3.5mm ²	8	8
6kw用 5.5mm ²	3.5mm ²	8	
	5.5mm ²	14	
	8.0mm ²	14	
7kw用 5.5mm ²	8.0mm ²	14	
	14.0mm ²	22	